５歳児年長　保育指導案

日　時　令和５年10月17日（火）13：00～13：45
保育者　Ｔ１小川千秋　Ｔ２岩間香織

１　探究課題　　身近な環境（ひと・もの・こと）に進んでかかわり，友だちと一緒に考えたり工夫したりして遊び込むためには，どうしたらよいか。

２　活動名　　「いいこと考えた　おもしろそう！　１年生とやってみたい」～わいわいランド～

３　保育構想と探究への手立て

幼稚園は「未来創造科」の基盤となる“探究的活動の素地となる遊びを通した体験”を育むことが大切と位置付けており，主体的な遊びを通した遊び込む子どもの育成を目指している。幼稚園の“探究的活動の素地となる遊びを通した体験”の一端である幼小接続や，１年生の“未来創造科の軸”となる活動にあたるのが「わいわいランド」で，子ども同士の交流を基盤に取り組んでいる。幼小接続カリキュラムを基に１年生と一年間の交流を通して「であう」「かかわる」「ふかめる」「たかめる」と段階を経て，安心して交流したり，教えてもらうばかりではなく幼児期の学びを生かして，幼稚園からもアプローチをして関わりを深めたりするなど，充実した活動になるよう連携を深めている。

そら組の子どもたちはわいわいランドで１年生と一緒に遊ぶことを楽しみにしている。わいわいランド①の出会いの場面では，１年生に幼稚園に来てもらい，まずは慣れ親しんでいる遊びで交流する時間（アイスブレイク）をもつことで，安心して楽しむことができた。わいわいランド②では，ペアを組み園庭で一緒に遊んだ。ペアの１年生に，カブトムシの飼育の仕方や，サラ粉をたくさん集められる方法などを教えてもらい自分の遊びに生かすなど，親しみをもち関わっていた。そのような思いや安心感が回を重ねるごとに深まり，１年生に対して「遊びたい気持ちを自分たちで伝えたい」と自分たちで考えて手紙を渡し主体的に交流しようとする姿が見られた。また，「〇〇ちゃんと一緒にカラ木ーでかまくら作って楽しかった」と，ペアの１年生の名前を出しながら遊びを振り返る姿や，「もっと友だちになったよ」と，より親しみをもって関わる姿などが増えた。わいわいランド③④では，前期課程へ出かけ，ペアの１年生が計画した活動をもとに遊んだ。そして，９月の運動会を見に来てもらったことをきっかけに，わいわいランド⑤「わいわいお楽しみ運動会」を１年生が計画し，それに向けてそら組も競技を考えアプローチをしている。本活動では，「わいわいお楽しみ運動会」に向けて，自分たちの遊びを工夫したり，１年生のことを考えて友だちと協同して競技を考えたりしながら探究し遊び込む姿を願っている。

このような子どもたちの姿を目指し，本活動を探究のプロセス（※）をもとに次のように展開していく。

〇１「めあてをもつ（思いや願いをもつ）」では，１年生によるビデオレターにより，「わいわいお楽しみ運動会」を一緒にすることを知ることで，楽しみな気持ちを膨らませ期待し，競技を考えていくという共通のめあてをもてるようにする。

〇２「やってみる」では，みつけた遊びの中で，自分たちの遊びと「わいわいお楽しみ運動会」の競技とを関連付けながら遊びの中でやってみる。

〇３「考える・試す・工夫する」では，自分たちのしている遊びの知識や経験を生かしながら，競技内容を考え，話し合いを深めていく。また，２「やってみる」３「考える，試す，工夫する」の過程を繰り返し行き来させ，実際に遊びの中で得た気付きを生かし，より工夫していったり，新しい発想をしたりできるようにし，子どもが試行錯誤できるように、探究の学びを支えていきたい。

〇４「満足感を味わう・表現する」では，自分たちで考えた競技を実現させ，１年生と一緒にやったり，ペアの友だちと力を合わせて頑張ったりして，「わいわいお楽しみ運動会」を楽しむ。また，友だちや１年生と一緒にめあてに向かって遊ぶ楽しさを感じることで，次の活動（秋祭り）への意欲につなげていく。

本時は，自分たちで決めた競技となる遊びについて，自分たちが楽しみながら，１年生と一緒に頑張ることができるような競技内容を考えていく場面である。子どもたちが，遊びを競技として変化させていくにはどうしたらよいかを試行錯誤したり，自分たちの経験を生かしたり，振り返ったりしながら競技を決めていけるよう支えていく。その際，１年生からのビデオレターを意欲付けとして活用したり，電子黒板で遊びの写真や動画を映し出し視覚化して共通理解を図ったりするなど，ICT を有効活用していく。また，話し合うだけではなく，実際にやってみたり，必要に応じてグループに分かれて話し合ったりするなど，子どもたちなりの発想ややり方で遊びが進み，深まっていくようにしていく。

※小学校以降の「総合的な学習の時間」で文部科学省が定義している学習の姿，また附属義務教育学校で設定した学習過程を参考にし，そこにつながるであろう幼児期の探究のプロセスを定義したもの。

【探究のプロセス】①めあてをもつ（思いや願いをもつ）②やってみる（体験や活動）③考える・試す・工夫する④満足感を味わう・表現する

４　この活動で期待される姿

○「いいこと考えた　おもしろそう！」の姿

・遊びの中で自分なりに試したり，考えたり，工夫したりして，繰り返しやってみる姿
・身近な自然に触れながら，物の性質を感じ取ったり気付いたりし，経験したことや考えたことを活かして遊ぼうとする姿
・友だちの思いや考え，工夫を受け止めたり，その思いを共有して自分の遊びにも取り入れたりして遊ぶ姿
・友だちや１年生と一緒にやりたい遊びを，自分の遊びや考え，経験を生かして発想し実現しようとする姿

○「１年生とやってみたい」の姿

・友だちと一緒に同じめあてに向かって遊ぶ中で，一緒に考えたり，頑張ったり，協力したりしながら，意欲的に取り組み，自己を十分に発揮する姿
・友だちのもつイメージや思いを受け入れたり広げたりして，共通の目的に向けて，考えたり工夫したりして，遊びを進めていこうとする姿
・１年生に親しみをもち，思ったことや考えたことなどを伝え合う姿

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力・人間性等
①物の性質や仕組みなどを感じ取る。 ②友だちと関わる中で互いの思いや考えに気付く。 ③遊びや生活に必要な情報を取り入れる。	①自分の力で行うために考えたり，工夫したり，自分の行動を振り返ったりする。 ②経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり，相手の話を注意して聞いたりする。 ③共通の目的の実現に向けて，考えたり，工夫したり，協力したりする。	①充実感をもって自分のやりたいことに向かって，心と体を十分に働かせる。 ②表現する喜びを味わい，意欲をもつようになる。 ③友だちの気持ちに共感する。

5　活動計画

(1)「わいわいランド」活動の経過と年間計画

本活動

	4・5月　6月	7月　8月　9月	10月	11・12月　1・2・3月
わいわいランドの主な活動	わいわいランド①～出会い～ わいわいランド②～ペアの出会い～ わいわいランド～ペアで一緒に遊ぼう～	ミニわいわいランド③～一緒に遊ぼう～ 【1年生から招待状をもらったよ】（朝の会） 【手紙で気持ちを伝えに行こう】（業間） わいわいランド④～前期課程で遊ぼう～ 【運動会を見に来てね】（運動会）	【いいこと考えたおもしろそう1年生とやってみたい わいわいお楽しみ運動会】	わいわいランド⑤～お楽しみ運動会～ わいわいランド⑥～秋まつり～ わいわいランド⑦～前期課程ってどんなところ～
	であう ・生き物のことやサラ粉の遊び方などを教えてもらう ・遊びに取り入れる	関わる ・自分たちのしているみつけた遊びを（泥団子・色水遊び・縄跳びなど）伝える	ふかめる	たかめる ・自然物をみつけに行ったり教えてあげたりする。 ・お互いの秋祭りを行き来する。 ・1年生になることを期待する。 ・自信をもって生活する。
みつけた遊び	○自分の興味のあることを見つけ遊びを楽しむ。 ○自分の考えやめあてをもって取り組んでいく。 身近な自然と触れ合う遊び 身近な小動物と触れ合う遊び 土・砂・泥の遊び 身体を使った遊び	○新しいことや少し難しいことにも挑戦しようとする。 運動会に向かう遊び	○友だちと話し合い協力して遊ぶ楽しさを味わう。 秋の自然を使った遊び ごっこ遊び こどもまつりに向かう遊び	○自分の力を十分に発揮したり，友だちと協力したりして遊びや活動を進めていく。 発表会に向かう遊び 集団でする運動遊び
学級で共有する活動	○自分の思い考えたことや気づいたことを伝えたり，友だちの思いや考えを聞いたりする。	○友だちの遊びを知ったり，友だちの考えを取り入れたりする。 ○友だちとめあてにむかってやってみたり，相談したり，思いを伝え合ったりして，遊びを面白くしていく楽しさを感じ，次への意欲をもつ。		○友だちの話に心を傾けて聞き，関連させて考えたり，自信をもって自分の考えを話したりする。
教師の援助・環境構成	(わいわいランド)①② ・一人一人が安心して活動できるような言葉をかけたり，「何がしたいかな？」などと活動に自分たちの考えや経験を活かせるよう問いかけたりし，安心感や主体性を大切にできるよう援助する。 ・一人一人が感じたことを表現できるよう，教師はその思いをしっかりと受け止める姿勢を大切にし，共感していく。	③　④ ・子どもたちから出てくる願いや思いを実現できるよう援助していき，自分事として活動する経験を積み上げていけるようにする。 ・自分の思いを伝えたり，友だちの考えを聞いたりしながら，一緒に意見を伝え合いながら活動を進めていけるように，思いを引き出していく援助をしていく。	⑤　⑥ ・子どもたちが主体的に1年生と関わろうとしたり，自分事として活動し充実感を味わったりする姿を大切にし，次への意欲へつながるような言葉をかける。 ・学級で思いを共有し，アイデアを出し合って考えていけるように，子どもたちの思いをつなげたり，考え方を伝わりやすくしたり，経験したことと関連付けたりできるようにする。	⑦ ・自分自身が成長した喜びを実感する姿や，就学への緊張感をもったりする姿などさまざまな姿を受け止め，友だちや1年生と一緒に楽しく活動する中で自信をもち力を発揮できるように援助する。

⑵ いいこと考えた　おもしろそう！　１年生とやってみたい」の活動計画

<table>
<tr><th>活動名</th><th colspan="2">探究の
プロセス</th><th>主な活動</th><th>幼児理解に基づく評価</th></tr>
<tr><td>1　わいわいお楽しみ運動会ってなに？楽しそうだね。</td><td colspan="2">めあてをもつ
（思いや願いをもつ）</td><td>〇学級で共有する活動
・１年生と一緒に「わいわいお楽しみ運動会」をすることを知る。（１年生からのアプローチ：ビデオレター）</td><td rowspan="8">遊びの観察による学びの見取り（１０の姿・探究のプロセス）</td></tr>
<tr><td>2　アイデアいっぱい。1年生とどんなことができるかな。</td><td rowspan="6">考える・試す・工夫する
本時</td><td rowspan="6">やってみる
みつけた遊びの中で，自分たちの遊びと「わいわいお楽しみ運動会」と関連付けながらやってみる</td><td>〇学級で共有する活動
・自分たちのしているさまざまな遊びをもとに，１年生とどんなことが出来そうかを話し合う。</td></tr>
<tr><td>3　泥団子遊び楽しいよ。1年生とどんなことができるかな。</td><td>〇学級で共有する活動
・前回出てきた遊びの中から「泥団子遊び」などとテーマを一つ決め，その遊びを生かして，どんなことができるかを話し合う。</td></tr>
<tr><td>4　泥団子でどんな競技をすると楽しいかな。みんなで考えよう。やってみよう。</td><td>〇学級で共有する活動
・「泥団子」を使った競技について競技の内容を話し合ったり，実際にやってみたりする。
・やってみる中で，気付いたことや新たに考えたことなどを話し合う。</td></tr>
<tr><td>5　みんなでやってみようよ。１年生に伝えたいね。</td><td>〇学級で共有する活動
・学級みんなで考えた競技を実際にやってみる。
・実際にやってみて気付いたことについて話し合う。
・競技の内容を１年生に伝える。
（ビデオで伝える）</td></tr>
<tr><td>6　もうすぐわいわいお楽しみ運動会！楽しみだね。</td><td>〇学級で共有する活動
・学級みんなで準備をする。
・競技に必要なものを考え，作ったり，準備したりする。</td></tr>
<tr><td>7　１年生と一緒にわいわいお楽しみ運動会をしよう！</td><td colspan="2">満足感を味わう・表現する</td><td>〇１年生と一緒に「わいわいお楽しみ運動会」をする。</td></tr>
</table>